

**市場の声を活かす！
マーケットインで挑む東南アジア市場
【調査結果レポート】前編**

株式会社Koeeru

調査概要



調査期間

2024年12月



対象国



日本、



ベトナム、



シンガポール



調査対象

- 各国一般消費者
- 日本の伝統工芸品に興味がある層



調査手法

各国の調査パネルを利用したインターネット調査



有効回答数

各国100名

※日本の伝統工芸品非関心層についても、シンガポール90名、ベトナム81名の声を、集計結果として一部まとめております。



調査項目

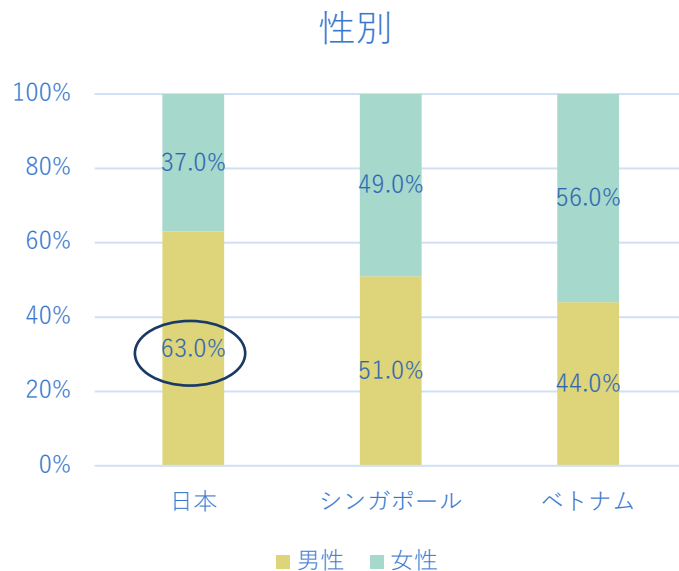
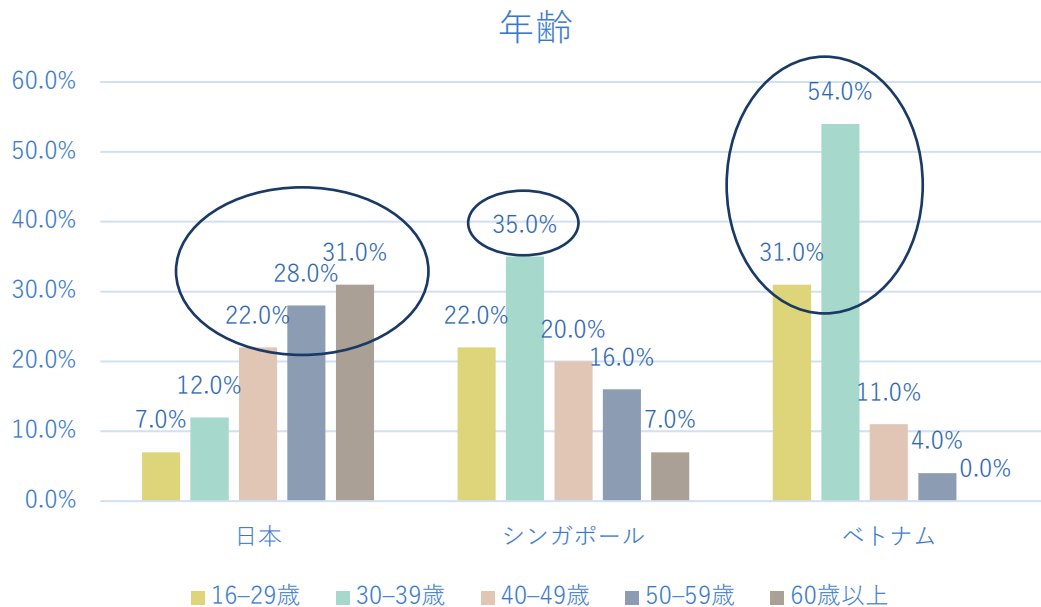
- 属性情報（年齢、性別、年収、訪日経験）
- 日本の伝統工芸品に関する購買実態
- 藍染商品コンセプトテスト

属性情報

性別、年齢

【回答者の特徴】

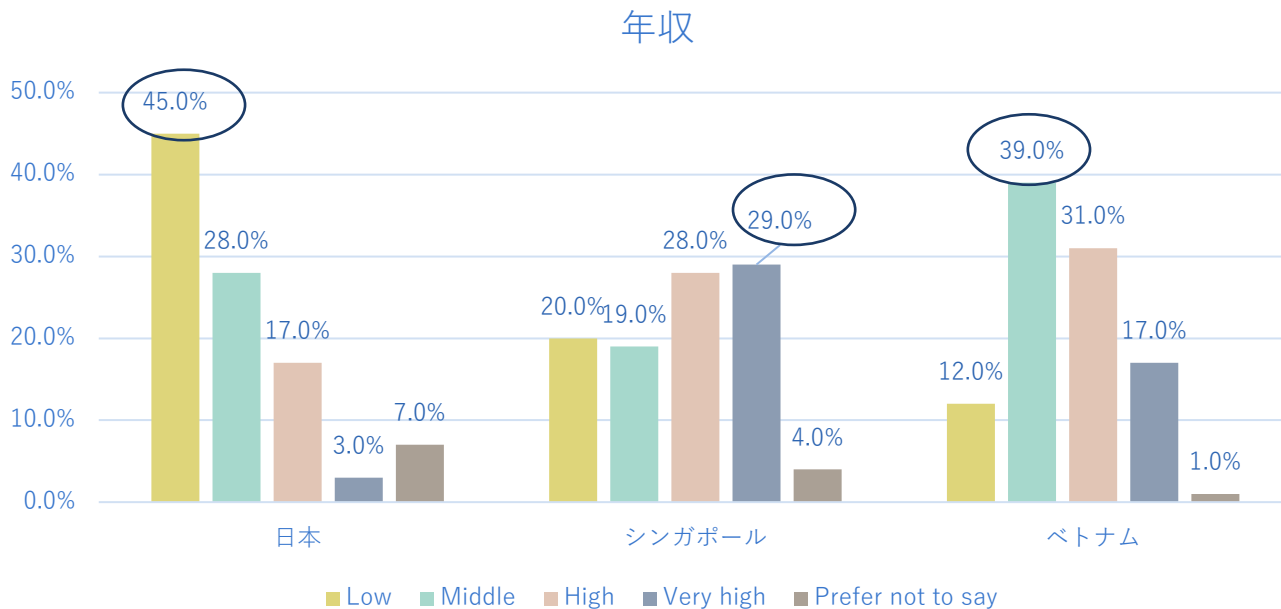
- 日本：40代以上の回答が全体の81.0%を占めており、性別は男性が63.0%を占める。
- シンガポール：年代は全体的に分散しているが、中でも30代が最も多い。男女比率はほぼ均等。
- ベトナム：30代の回答が圧倒的に多く、16歳～30代までの若年層が全体の85.0%を占める。性別は女性がやや多い。



個人年収

【回答者の特徴】

- 日本：300万円未満の回答者が最も多い。
- シンガポール：高所得者層が57.0%と多くなっている。
- ベトナム：中間所得層が最も多く、高所得者層が続く。

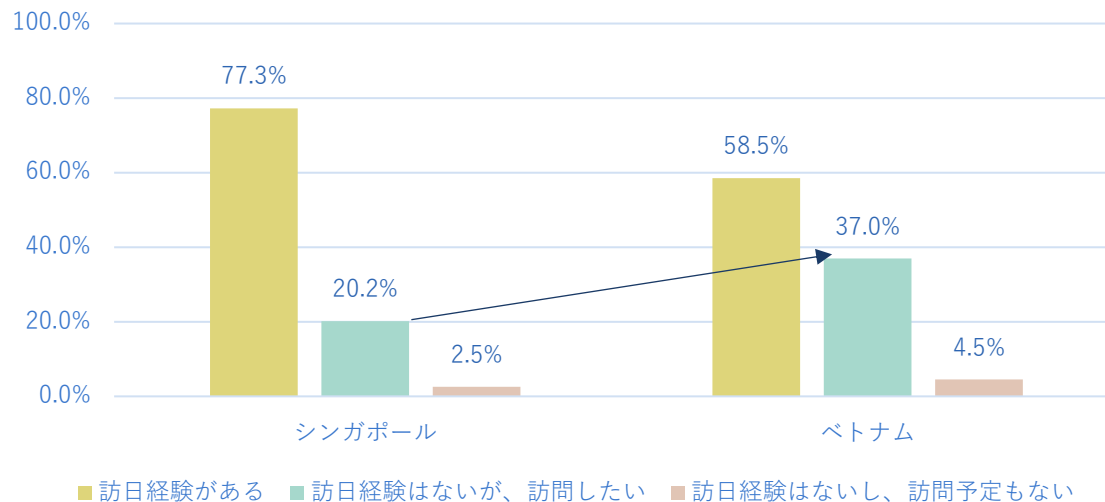


訪日経験

【回答者の特徴】

- シンガポール：訪日経験者が77.3%と多い。
- ベトナム：訪日経験者が半数を超えるが、訪日未経験の関心層が4割近い。

訪日経験（※全体）



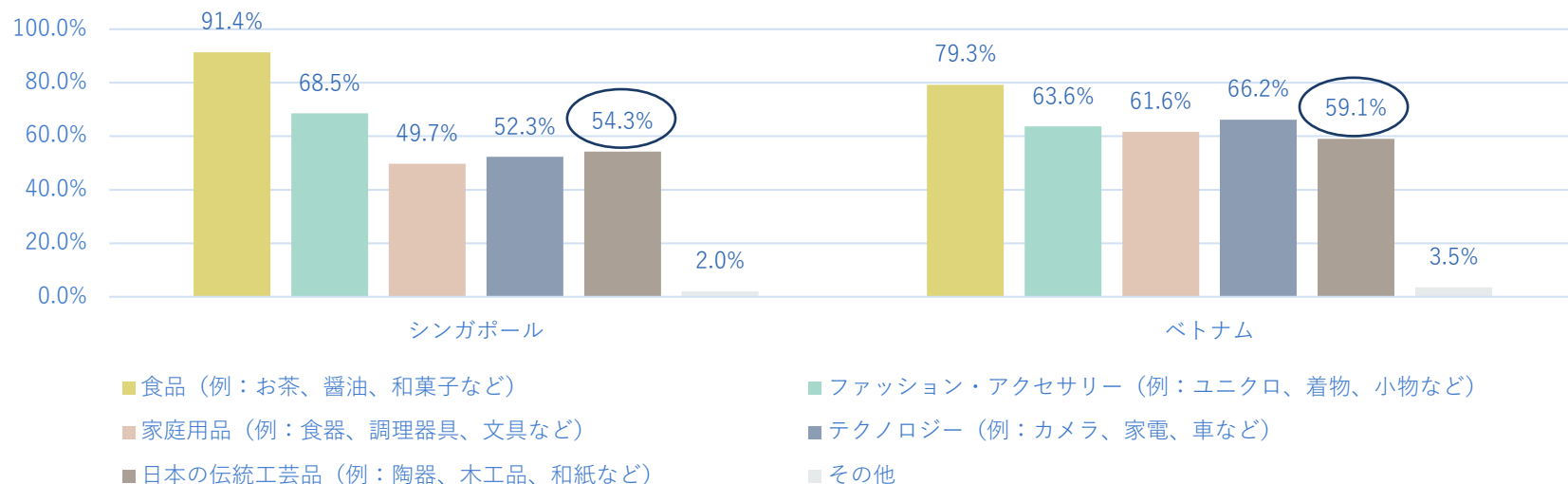
日本の伝統工芸品に対する購買実態

人気のある日本商品のカテゴリーは何か

【回答者の特徴】

- いずれの国においても、食品への関心が最も高い。
- 伝統工芸品は、シンガポールで54.3%、ベトナムで59.1%と、どちらも半数を超える関心の高さがある。

関心が高い日本商品カテゴリー（※全体）

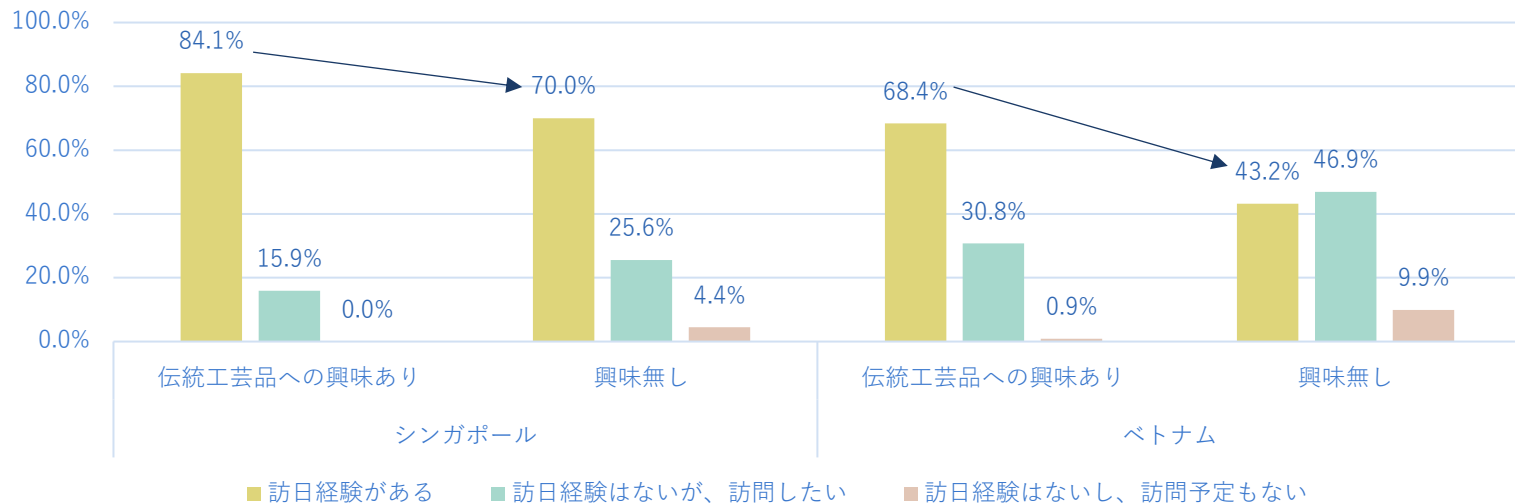


伝統工芸品への興味と訪日経験の関係性

【回答者の特徴】

- いずれの国においても、訪日経験者の方が日本の伝統工芸品への興味が高い結果となった。
- 現時点で日本の伝統工芸品に興味が無い人も、訪日をきっかけに興味を持つ可能性がある。

日本の伝統品への興味×訪日経験

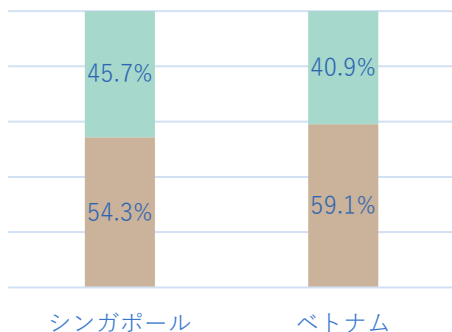


伝統工芸品に興味が無い人、その理由は何か

【回答者の特徴】

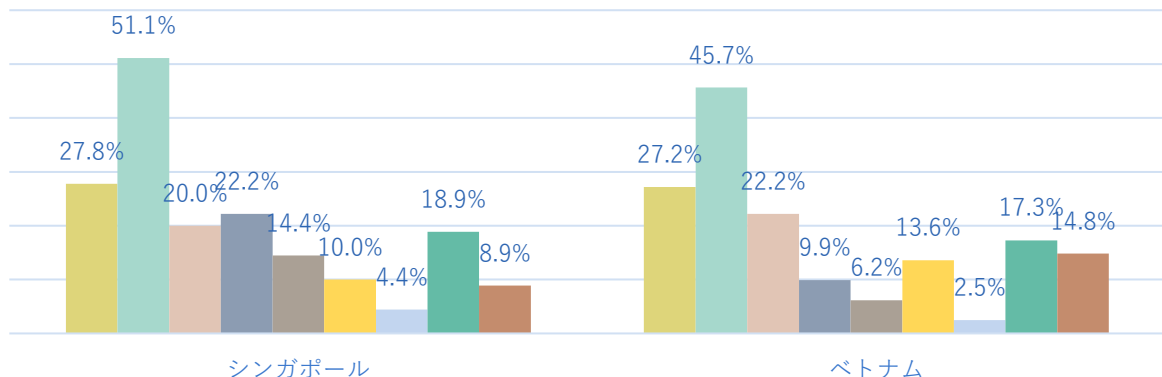
- いずれの国も「日常生活で使う機会が少ない」という回答が半数程度で、圧倒的に多い。
- 「価格が高いと感じる」が30%弱と続く。
- 「デザインが自分の好みに合わない」と回答している人が20%程度。
- シンガポールでは「製品の価値や背景について知らない」が22.2%と、ベトナムの9.9%と比べ10%以上の差が高い。

日本の伝統工芸品への興味



■ 伝統工芸品への興味あり ■ 興味無し

日本の伝統工芸品に興味が無い理由



■ 価格が高いと感じる ■ 日常生活で使う機会が少ない ■ デザインが自分の好みに合わない
■ 製品の価値や背景について知らない ■ 他の国の工芸品に興味がある ■ 購入場所や方法がわからない
■ 品質や耐久性に不安がある ■ 興味を持つきっかけがなかった ■ 文化的な違いを感じる

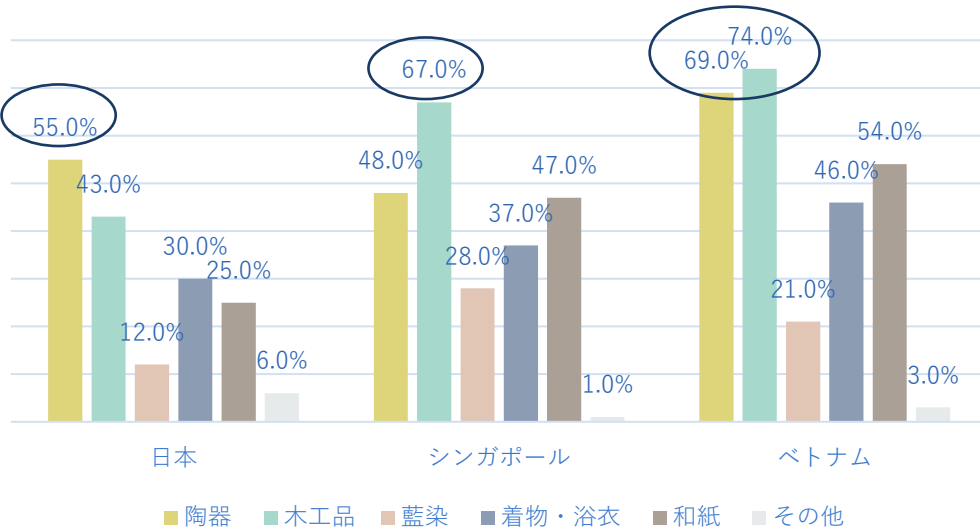
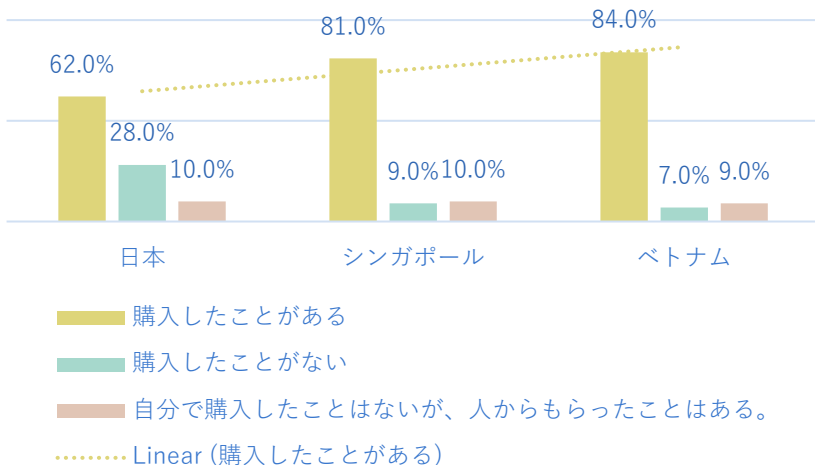
日本の伝統工芸品関心層における購買経験

【回答者の特徴】

- 日本：購入経験62%で、他国と比較して低い傾向。購入品目は、日常でも使いやすい「陶器」が最も多い。
- シンガポール：購入経験は81%と非常に高い。品目は、「木工品」「陶器」「和紙」と続く。
- ベトナム：シンガポールと同様の傾向。「木工品」と「陶器」は特に、購入品目として値が高い。

購入した（興味を持った）日本の伝統工芸品

日本の伝統工芸品の購入経験

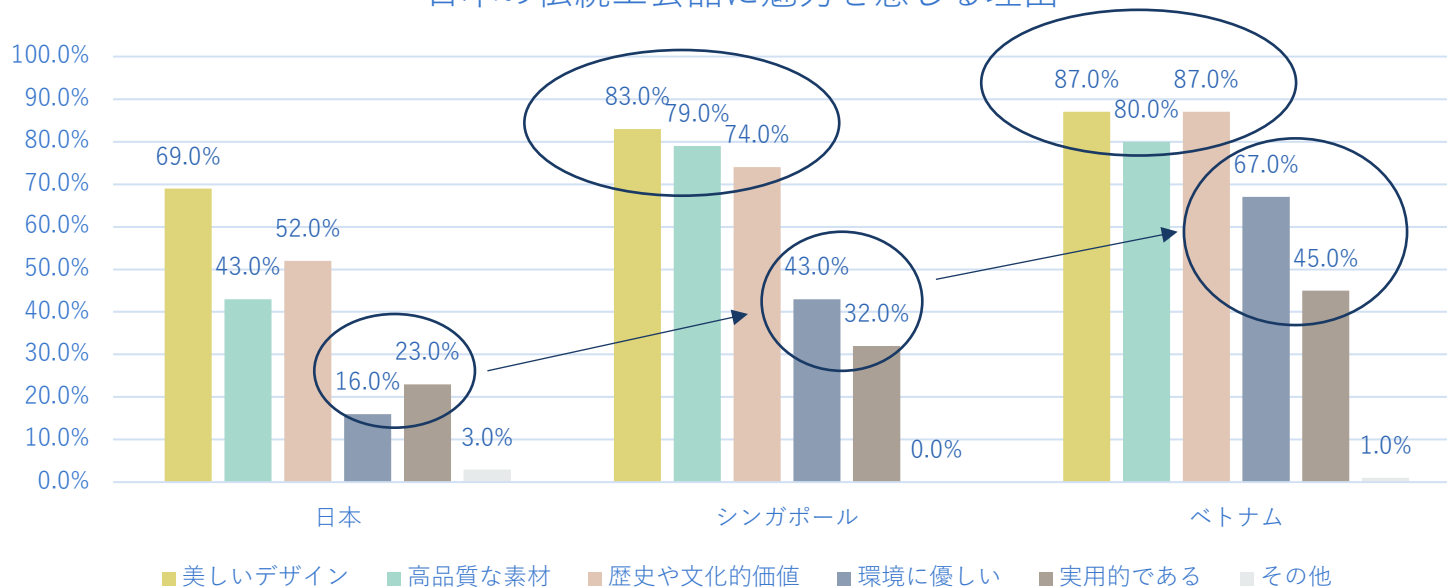


日本の伝統工芸品関心層における購買理由（魅力）

【回答者の特徴】

- いずれの国も「美しいデザイン」「高品質な素材」「歴史や文化的価値」が特に高い。
- 日本ではあまり高くないが、シンガポールやベトナムにおいては「環境に優しい」「実用的である」にも注目度が高い。

日本の伝統工芸品に魅力を感じる理由

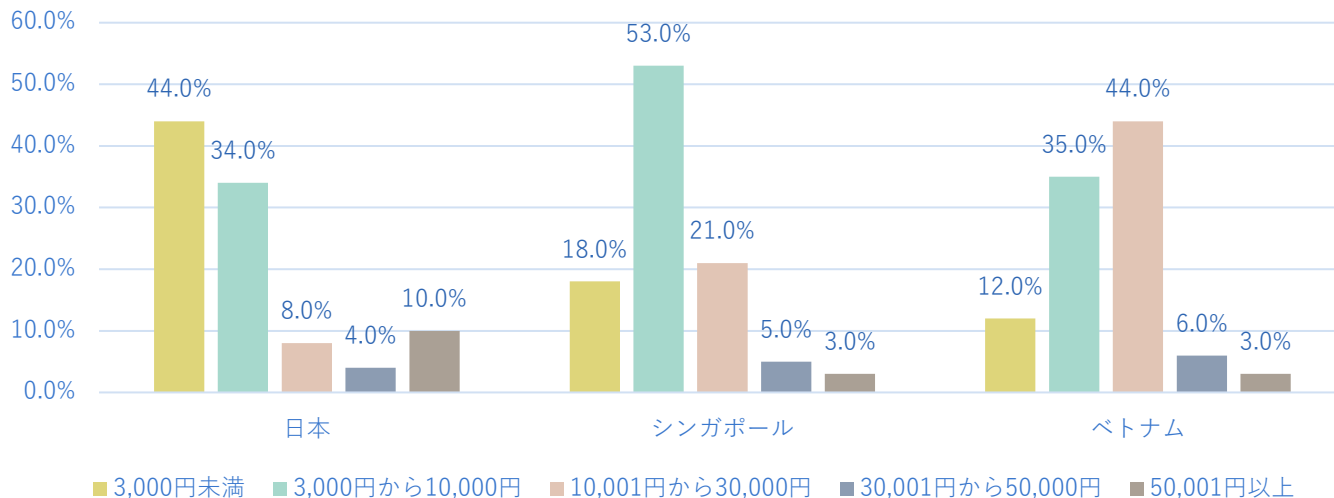


日本の伝統工芸品関心層における購入価格帯

【回答者の特徴】

- 日本：3,000円未満が最も多く44%
- シンガポール：3,000円～10,000円が半数以上と圧倒的に多い。
- ベトナム：3,000円～10,000円が35%、10,000円～30,000円が44%と、購入価格帯の幅が広い。

購入した（興味を持った）伝統工芸品の価格帯

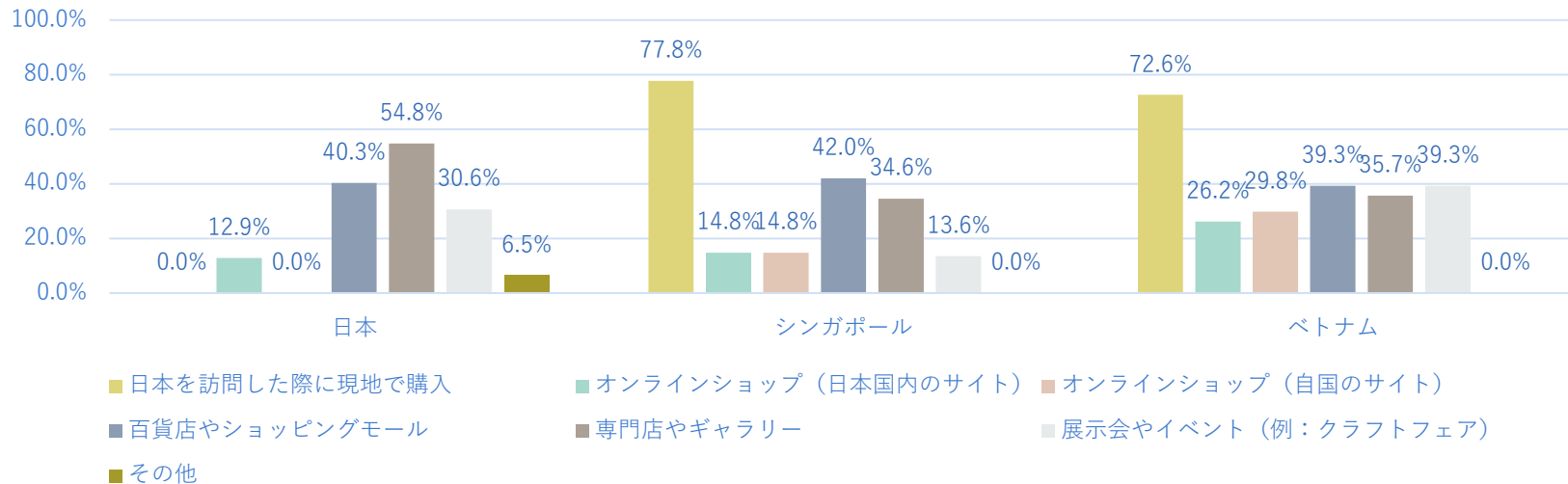


日本の伝統工芸品購入者の購入チャネルとは

【回答者の特徴】

- シンガポールとベトナムにおいて、「日本を訪問した際に現地で購入」が70%以上と非常に高い。
- 次いで多いのが「百貨店やショッピングモール」
- ベトナムの特徴は、シンガポールと比べて「展示会やイベント」での購入が39.3%と比較的高い値であること。

購入チャネル





Thank You!

koeerü

<https://koeeru.com/>